

本の世界へ! ジャンプ

さあ、本の世界へ冒険に出かけよう! みんなに読んでほしい本を集めました。
紹介している本は、宗像市民図書館にそろえています。

「タイトル」	背ラベル
表紙	著者名 出版社 出版年
	あらすじ

★…読みやすい
★★…5年生6年生にピッタリ
★★★…チャレンジ

物語

「この計画はひみつです」



ジョナ・ウィンター／文
ジャネット・ウィンター／絵
さくまゆみこ／訳
鈴木出版 2018年

E
コ

さばくの中に作られた秘密の研究所。そこに集められた科学者達。かれらはいったい何をしているのか。絶対に知られてはいけない計画とは。

★

「ぼくらのスクープ」



赤羽じゅんこ／著
講談社 2021年

913
ア

学級新聞を作ることになったイダッチとクラスの変わり者・魔王。スクープをのせたいと燃えるイダッチと冷静な魔王の取材が始まる。

★

「天の台所」



落合由佳／著
講談社 2021年

913
オ

おばあちゃんが亡くなってから、天の家族4人の生活はあれていた。天は近所のがみババに料理を教わり、家族に料理を作り始める。

★★

「サステナブル・ビーチ」



小手鞠るい／作
さ・えら書房 2021年

913
コ

やる気が起きない夏休み。親にさそわれるままハワイへ行った七海。美しさに感動した砂浜で見たくらのオブジェの正体に、ショックを受ける。

★★

「チギータ!」



蒔田浩平／作
ポプラ社 2019年

913
マ

寛仁は卓球が好き。レクリエーションの時間にやることを多数決で決めると、いつもサッカーやバスケットになる。多数決に勝ち卓球はできるのか。

★★

「バウムクーヘンとヒロシマ ドイツ人捕虜ユーハイムの物語」



栗山ひろみ／著
くもん出版 2020年

913
ス

バウムクーヘン作り体験ができるキャンプに参加した颯太。そこで戦争捕虜のユーハイム、似島の収容所、戦争と広島のことを知っていく。

★★★

「月白青船山」



朽木祥／作
岩波書店 2019年

913
ク

鎌倉の大おじの家で夏休みを過ごす兵吾と主税の兄弟は、地元の少女・静音と知り合う。遊んでいた3人は、桜の咲く不思議な場所に迷いこむ。

★★★

「昔はおれと同年だった田中さんとの友情」



椰月美智子／作
小峰書店 2019年

913
ヤ

田中さんにけがをさせ、身の回りの手伝いをするようになった3人。やがて、田中さんが自分たちと同年のころの戦争体験を教えてください。

★★★

「貸出禁止の本をすくえ！」



アラン・グラッツ／著
ないとうふみこ／訳
ほるぷ出版 2019年

933
ク

大好きな本が貸出禁止になった。そこでエイミー・アンは貸出禁止の本を集めたロッカー図書館を始める。絶対にばれてはいけない秘密の貸出。

★★★★

「囚われのアマル」



アイシャ・サイド／作
相良倫子／訳
さ・え・ら書房 2020年

933
サ

長女だからと家族の世話をするアマルの夢は教師。しかし父親の借金のため大地主の屋敷の使用人となる。アマルは夢をかなえられるのか。

★★★★

「おいで、アラスカ！」



アンナ・ウォルツ／作
野坂悦子／訳
フレーベル館 2020年

949
ウ

大好きだったのに飼えなくなり手放した犬のアラスカが、意地悪なスフェンの介助犬になっていた。パーケルはアラスカを取り返そうと考える。

★★★★

「おじいちゃんとの最後の旅」



ウルフ・スタルク／作
菱木晃子／訳
徳間書店 2020年

949
ス

口が悪くおこりっぽいおじいちゃんの願いは、病院をぬけ出し家に帰ることだ。おじいちゃんのため、ウルフは島の家へ向かう計画を立てる。

★★★★

「ながいながい骨の旅」



松田素子／文
川上和生／絵
講談社 2017年

E
ナ

わたしたちの体を支える骨。骨がたどってきた時間をさかのぼると、骨の持つ役割、生物の進化だけでなく、地球と生物のつながりがわかる。

「消えたレッサーパンダを追え！」



警視庁「生きもの係」事件簿
たけたにちほみ／文
学研プラス 2020年

317
タ

警視庁生きもの係は、生き物の密輸やい法な売買などの犯罪をあつかう。ある夜、動物園のレッサーパンダがぬすまれた。さあ、そう査開始だ。

「聞かせて、おじいちゃん 原爆の語り部・森政忠雄さんの決意」



横田明子／著
国土社 2021年

319
ヨ

59年もの間、だれにも話せず、思い出したくないほどつらい原爆の記おく。おじいちゃんは孫にたのまれて重い口を開き、語り部となった。

「この世界からサイがいなくなってしまう」



「アフリカでサイを守る人たち」
味田村太郎／文
学研プラス 2021年

489
ミ

アフリカではサイの角をねらった密猟が続いている。絶滅の危機から救うために科学者たちの国際研究チームや女性レンジャー組織が作られた。

「プラスチック・プラネット」



G・A=ブラッドショー／作
大山泉／訳
評論社 2019年

519
ア

身のまわりにあふれているプラスチック製品。プラスチックは役に立つけれど、使い方や処理の方法が大きな問題を引き起こしている。

「ことばハンター」



「国語辞典はこうつくる」
飯間浩明／著
ポプラ社 2019年

813
イ

国語辞典は完成したら終わりではない。のっていることばも意味も時代と共に変わっていく。ことばハンターは常に新しいことばを探している。